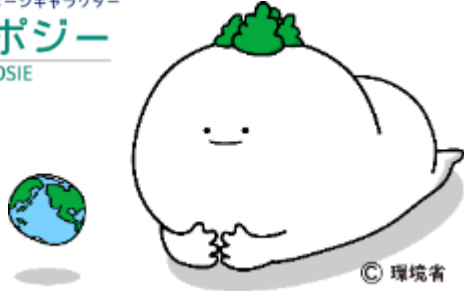


「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター
だいだらぽじー
DAIDARAPOSIE



ビジネス分野別自然関連リスク・機会ロングリスト 及びバリューチェーンマップについて



※本資料では、各用語を省略記載

NP : ネイチャーポジティブ

NPE : ネイチャーポジティブ経済

SC : サプライチェーン

VC : バリューチェーン

ビジネス分野別自然関連リスク・機会ロングリスト及びVCマップの整理プロセス

- ビジネス分野別リスク・機会ロングリスト及びVCマップは、以下のプロセスによって検討を実施予定。
- 今年度は、「**優先対象分野に関するコアメンバー会議**」における検討や企業等への意見公募・調整等を踏まえて最終化・公表予定。

プロセス① 優先対象分野の特定

- ・ **分野別の自然への依存、影響度**（Encore上のデータ）及び**国内産業規模**（内閣府「経済活動別国内総生産（名目）」の2022年度データ）を踏まえ、**優先対象分野を特定**。

⋮

ビジネス分野別リスク・機会ロングリストの概要や優先対象分野の特定結果は、第7回研究会資料※を参照

プロセス②-1 ビジネス分野別リスク・機会ロングリストの整理

- ・ 優先対象分野ごとに関連するリスクと機会について、**TNFD、WBCSDが公開しているガイダンス等から引用し、整理する**
- ・ 整理したリスクと機会ごとに、**対応策をAR³Tミティゲーションヒエラルキー分類別に整理**
- ・ 上記リスクと機会、対応策に関連する企業事例を掲載

プロセス②-2 ビジネス分野別リスク・機会VCマップの検討・作成

- ・ プロセス②-1の整理結果を踏まえて、VCの上流～下流におけるリスクと機会及び対応策を要約し、関係性を可視化した**ビジネス分野別リスク・機会VCマップ**を検討・作成

ビジネス分野別リスク・機会ロングリスト及びVCマップの検討進捗・方針（1/2）

- 第7回NPE研究会以降は、掲載対象企業、電機・電子4団体、関係省庁等から得られた意見を踏まえた各種更新を実施している。
- 今年度中に**2回のコアメンバー会議**や**TNFD Adopters向け意見公募等を経て最終化・公表予定**

優先対象分野
(リスク・機会ロ
ングリスト等)



第7回NPE研究会以降の推進事項

- ・ 事例を掲載予定の企業に対して、掲載可否の確認と合わせて**使いやすさの観点からの意見を収集**
- ・ 電機・電子4団体生物多様性WGと「**電機・電子の事業活動と生物多様性の関係性マップ**」の策定・公表における学びや今後の連携について議論
- ・ 上記の議論結果や収集意見を踏まえて、**リスク・機会ロングリストの表現精査等の内容更新**を実施

第8回NPE研究会以降の推進事項

- ・ **コアメンバー会議において、ロングリストの公表方法や普及・活用促進に関する議論**を実施。
- ・ **TNFD Adopters企業等への意見公募等を実施することでユーザーニーズを把握し、ロングリストの内容改善を実施**
※実施方法については、コアメンバー会議で議論予定
- ・ その他、最終化・公表に向けて、掲載対象企業・関係省庁等に対する各種照会、資料更新を継続実施

ビジネス分野別リスク・機会ロングリスト及びVCマップの検討進捗・方針（2/2）

優先対象分野に関するコアメンバー会議

【目的】

- 第7回NPE研究会で示した優先対象分野（食料・農林水産関連分野、建設・インフラ関連分野、製造関連分野）における**自然関連リスク機会ロングリスト・VCマップ**について、**効果的な公表方法や対象別の普及・活用促進のための施策等**について議論し、得られた意見を踏まえて公表・施策実施を行う。
- 優先対象分野が、NP観点で悪影響を与えている分野であると誤認されないような（むしろ好影響も与えている観点も含めた）公表のための留意事項も整理。

【委員構成案】

- MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社・原口委員
- 経団連自然保護協議会・饗場委員
- 電機・電子4団体 環境戦略連絡会 生物多様性ワーキンググループ・勝田委員
- 三井住友信託銀行・後藤委員
- オブザーバー：関係省庁（国土交通省・農林水産省・林野庁、経済産業省等）

公表資料一式として、**概要版、策定の背景と意義、リスク・機会VCマップ本編、リスク・機会ロングリスト本編等**の策定を検討中

